

泌尿器癌領域における免疫チェックポイント阻害剤による免疫関連副作用と予後との関連性の検討

1. 研究の対象

2015年12月以降に、泌尿器癌領域において、免疫チェックポイント阻害剤を投与された患者。具体的には、進行性腎細胞がんに対してNivolumab(オプシーボ)もしくはNivolumab(オプシーボ)およびIpilimumab(ヤーボイ)の併用療法を、進行性尿路上皮がんに対してPembrolizumab(キートルーダ)などの投与を施行された患者となります。

2. 研究目的

大阪大学医学部附属病院および大阪大学の関連施設病院において、泌尿器科癌に対して免疫チェックポイント阻害剤の投与を行われた患者の予後、免疫関連副作用の発現を詳細に把握する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

腫瘍組織型、血液画像検査結果、転移臓器名、合併症、治療歴 治療内容、等。
本研究では個人を特定しうる情報として患者さんの生年月日も登録致します。

4. 外部への試料・情報の提供

代表研究機関へのデータの提供は、匿名化された状態で行います。

5. 共同研究機関

大阪大学の関連施設病院である以下の施設との共同研究を行います。

大阪急性期・総合医療センター(研究責任者 山口誓司)

大阪労災病院泌尿器科(研究責任者 辻畑正雄)

大阪警察病院泌尿器科(研究責任者 高田晋吾)

大阪国際がんセンター泌尿器科(研究責任者 西村和郎)

大阪医療センター泌尿器科(研究責任者 西村健作)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪国際がんセンター 泌尿器科

永原 啓 (副部長)

住所:大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69

研究代表者

大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学講座(泌尿器科学)

加藤 大悟(助教)

住所:大阪府吹田市山田丘2-2 電話番号:06-6879-3531

研究責任者

大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学講座(泌尿器科学)

野々村 祝夫 (教授)